

花川病院

中村 洋平 (リハビリテーション部 教務主任 / 理学療法士)

功 績 臨床・教育・研究を通じて当院リハビリテーションの質向上に大きく貢献するとともに、自らの専門スキルを活かして病院運営を支援する院内多職種連携管理アプリ「花川リハ・ナビ」を開発・運用し、業務効率化とチーム力向上に極めて大きく寄与した功績。

推薦者氏名 岡本 康世 (リハビリテーション部長)

推薦理由 中村洋平は、豊富な臨床経験と教育歴を基盤に、当院リハビリテーション部の教育体制整備、研究活動の推進のみならず、多職種との連携強化およびチーム力の向上に継続して取り組んでいます。自らの専門スキルを活かしたアプリ開発も含め、その実績は理事長賞にふさわしいものですので理事長賞に推薦します。

内 容

中村洋平理学療法士は、2010年の当院入職以来、15年以上の長きにわたり理学療法士として臨床業務に従事する傍ら、教育・研究活動にも積極的に取り組んできました。リハビリテーション学の修士課程において動作解析の研究で培ったプログラミングの知識を基盤とし、2026年度診療報酬改定に迅速かつ的確に対応するための院内多職種連携管理アプリ「花川リハ・ナビ」を独自に開発しました。

本アプリは、実績指数管理、FIM、退院予定日、ベッド稼働状況などを一元的に確認・シミュレーションできる画期的なシステムであり、リハビリテーションの質向上と施設基準クリアを強力に支援するツールです。セキュリティ面においても、厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠した強固な防壁（3レイヤーセキュリティ）を構築し、院内LANおよびクラウド環境の双方で安全に運用できる体制を確立しました。

長年当院で勤務する中で育んできた信頼関係と多職種連携を活かし、各部門が抱えていた課題を丁寧に共有・整理した上で、自身の持つスキルによって業務効率化と情報の一元化を実現しました。本アプリの導入に伴い、患者さんの現在地、目標、退院要件、実績指数等が同時に可視化されたことで、情報の非対称性が解消され、カンファレンスの質向上や病棟運営のチームビルディングの更なる強化に多大なる貢献を果たしています。

また、中村は学術・教育活動においても顕著な実績を残しています。脳卒中認定理学療法士、運動器認定理学療法士をはじめとする専門資格を多数有し、脳卒中認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関の講師を務めるなど、後進の育成に尽力しています。さらに、日本リハビリテーション医学会学術集会や日本運動器理学療法学会等での多数の学会発表、座長や査読委員の歴任、論文執筆など、リハビリテーション医療全体の発展に向けた学術活動を精力的に継続しています。

中村の取り組みは、高度な専門性を活かした臨床・学術活動にとどまらず、最先端の技術を用いた病院運営・多職種連携のシステム化という新たな価値を当院にもたらしました。臨床・教育・研究・DX（業務改革）の各領域において模範的な実践を重ねていることから、理事長賞受賞者として極めてふさわしいと考え、ここに推薦いたします。